

| 会議記録 | | | |
|------------|--|-----------------------------|---|
| 会議の名称 | 環境厚生常任委員会 | | 会議場所 全員協議会室 担当職員 小野 |
| 日時 | 令和2年9月14日(月曜日) | 開議 午前 10時00分 閉議 午後 4時10分 | |
| 出席委員 | ◎並河 ○大塚 長澤 富谷 平本 三宅 小松 西口 齊藤議長 | | |
| 理事者 出席者 | <p>【環境市民部】由良部長 [環境政策課] 山内課長、綾野主幹、名倉環境保全係長 [環境クリーン推進課] 大西課長、吉見計画係長</p> <p>【健康福祉部】河原部長 [健康増進課] 大西課長 中山副課長 大原健康管理係長</p> <p>【こども未来部】高橋部長 [子育て支援課] 森岡課長 井尻副課長、片山副課長、酒井こども政策係長 [保育課] 阿久根課長、中川政策担当課長</p> | | |
| 事務局 | 山内事務局長、小野主任 | | |
| 傍聴者 | 市民 0名 | 報道関係者 1名 | 議員5名(奥野副議長、三上議員、 小川議員、福井議員、 松山議員) |

会議の概要

1 開議 10:00

2 事務局日程説明 10:01

[事務局主任より説明]

3 議案審査 10:04

[理事者入室] こども未来部

(1) 第1号議案 令和2年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

<こども未来部長>

(あいさつ)

<子育て支援課長>

(資料に基づき説明)

<保育課長>

(資料に基づき説明)

[質疑]

<小松委員>

助産施設とはどのようなものか。

<子育て支援課長>

助産施設として認可された医院である。

<小松委員>

23P、子ども子育て支援経費について、従来の窓口相談とオンライン相談を併用するということか。

<子育て支援課長>

そのとおりである。

<小松委員>

オンラインの営業時間は。

<子育て支援課長>

現時点では夜間などの開設は考えていない。通常の営業時間内での相談としている。

<富谷委員>

23P、新生児特別定額給付金について、令和3年3月31日までに生まれたが、出生届が4月1日以降に提出された場合、その方は対象となるのか。

<子育て支援課長>

そのとおりである。

<富谷委員>

4月1日に生まれた方は対象とならないのか。

<子育て支援課長>

令和2年度内の事業であるため、4月1日の生まれの方は対象とならない。

<長澤委員>

京都府の補助金を活用した、子どものあそびばの整備について、拠点整備と合わせて地域でのあそびばの整備も今後の課題としていただきたい。

<子育て支援課長>

計画はないが、市民アンケートで地域のあそびばが少ないと意見があるのは承知している。工事となると費用がかかるので難しい部分もあるが、手法を工夫しながら取組を進めていきたい。

<三宅委員>

あそびばのイメージ図や設計内容は。

<子育て支援課長>

今後、内容については設計を行い、状況を報告させていただく。

<三宅委員>

設計するにあたり、議会の意見を反映させることは可能か。

<子育て支援課長>

現在は、予算措置のみの提案であるが、設計を行うにあたり、予算の範囲内で委員からの意見もいただきながら進めてきたいと考えている。

<平本委員>

子どものあそびばはどのように活用されるのか。

<子育て支援課長>

屋外の庭園にあそびばを設置することで、屋内外に遊具を設置することができるようになる。屋内は小学生未満の子ども、屋外は小学校低学年ぐらいの年代の子どもが使用することを想定し、兄弟で来られた場合でもそれぞれの年齢に応じて遊んでいただけけるような状況を考えており、屋外の施設も子育て支援員が巡回するような形を考えている。

<平本委員>

この施設の周知徹底を図り、支援拠点を整備して市民の方に喜ばれるように運用していただきたい。

<西口委員>

予算を提案しているが、イメージ図もなく、どのように積算をされたのか。

<子育て支援課>

京都府のまちづくり交付金は、地方創生交付金と同様に、どういった遊具を設置するかということではなく、遊具を設置することで、どのような効果が得られるかという内容に対して補助を行っている。積算方法としては、カタログなどから遊具の規模を想定し積算を行った。

<西口委員>

通常、積算を行うにあたっては、物品を選定し、それに必要な工事などを想定して金額を積み上げていくものであるが、イメージ図や積算根拠がないため、この金額が妥当であるか判断できない。根拠を示していただきたい。

<子育て支援課長>

カタログなどを基にした積算資料はあるが、事業者選定を行う過程で委員の意見をいただきながら、内容を組み立てていきたいと考えている。

<平本委員>

遊具はカタログである程度予想できるが、造成費用はどのように積算しているのか。

<子育て支援課長>

物価版などをもとに積算しているが、過去に調査した際にとった見積を参考としている。

<平本委員>

遊具の設置場所は、特に加工や造成をしなくてもよいということか。

<子育て支援課長>

設置場所の強度などは現時点で不明であるため、今後調査を行っていきたいと考えている。

<三宅委員>

調査を行った結果、予算が増えることはあるか。

<子育て支援課長>

予算の範囲で実施する。

<西口委員>

強度計算を行っていないということであるが、エイジレスセンター自体は屋上にものを載せる計算にはなっていない。このようなことは初歩的な問題であり、今回提案した予算を増額補正することは許されない。大型遊具を設置できるか大変疑問である。

<こども未来部長>

京都府と折衝を行う中で、できるだけ多くの補助金を得られるよう、このような組み立てを行った。今あるものを活用しながら、多世代の方が交流できる場の整備を行いたいと思っている。委員の意見も踏まえる中で、進めていきたいと考えている。

<平本委員>

最近は、他の部においても予算を確保してから内容を詰めていくという話が多い。事前に下調べを行ったうえで、予算をどういった形で利活用できるか説明していただきたい。

<長澤委員>

京都府に補助金の申請を行う際に事業計画書を提出していると思うが、その内容を資料として提出できないのか。

<こども未来部長>

この補助金については、事業に対するコンセプトに重きをおいたものであり、京都府から詳細な積算については求められていない。指摘いただいた分については、今後参考にし、理解いただけるような内容となるよう提示させていただきたい。

<大塚副委員長>

子育て支援専門員を採用するにあたり、採用の条件や業務の内容は。

<子育て支援課長>

保育士、社会福祉士、京都府が無料で実施する子育て支援員育成講座を受講・修了された方を募集している。業務内容は、屋内外のあそびばや芝生広場などに来られる保護者の方に対して積極的に関わり、遊びを通じて相談や情報提供などを行い、必要であれば専門的な機関に繋いでいくという役割である。

<大塚副委員長>

子育て支援員育成講座の内容は。

<子育て支援課長>

子どもに接する注意点、発達に対するアプローチや保護者との関わりといった内容で、基礎講座2日、専門講座2日という日程である。

[理事者退室] こども未来部

[理事者入室] 環境市民部

11:08

(2) 第1号議案 令和2年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

<環境市民部長>

(あいさつ)

<市民課長>

(資料に基づき説明)

<環境政策課長>

(資料に基づき説明)

<環境クリーン推進課長>

(資料に基づき説明)

<環境クリーン推進課施設担当課長>

(資料に基づき説明)

<環境クリーン推進課埋立担当課長>

<保険医療課長>

(資料に基づき説明)

[質疑]

<西口委員>

先日、埋め立てごみ処分場で発生した火災の原因は。

<環境クリーン推進課埋立担当課長>

特定は難しいが、埋め立てのごみ袋に混入されたリチウムイオン電池を重機で転圧したことによって発火した可能性が高い。現場では、焦げた携帯電話のバッテリー、

カセットボンベ、スプレー缶が確認できた。

<西口委員>

今後も火災が起こる可能性があるということか。

<環境クリーン推進課埋立担当課長>

リチウムイオン電池は、今年の4月から分別回収を始めたが、今回の火災を受け、ホームページやキラリ☆亀岡でリチウムイオン電池の分別回収のお願いと危険性の周知を行っている。8月からごみの再資源化を図るために、埋め立てごみの中間処理業務をはじめ、その中で分別ででてきた危険物を取り除く取組も行っている。

<西口委員>

今後、こういったことが起きないよう、徹底した対応策と市民に対する周知をお願いしたい。消火に使用した水は地下に浸透していないのか。

<環境クリーン推進課埋立担当課長>

今回火災があった場所は、現在ごみを埋め立てている場所の上部にあるため、ごみの汚れを含んだ水が浸透していることはない。また、水質調査を実施しているが異常な数値は出ていない。

<平本委員>

ポイ捨て防止重点地域に設置するごみ箱はどのようなものか。

<環境クリーン推進課長>

ごみを4種類に分別でき、透明で内部が確認できるものである。

<平本委員>

いつ頃に設置する予定か。

<環境クリーン推進課長>

過去にごみ箱を設置した際、不適切にごみが捨てられたことがあったため、監視をどのように行うのか関係機関と協議を行っており、時間を要するかもしれないが、11月までには設置したいと考えている。

<富谷委員>

ごみ出し困難世帯の個別収集に使用する軽自動車の詳細は。

<環境クリーン推進課長>

現在、粗大ごみの収集運搬は、亀岡市環境事業公社が行っているが、公社は2トン以上のパッカー車やダンプ車しかないので、粗大ごみを回収するにあたり、広い道まで粗大ごみを出していただきたいとお願いしているが、高齢者や体が不自由な方などそこまで搬出することが困難であるため、そういったことに使用したいと考えている。

<富谷委員>

住民基本台帳に扶養の記載を追加することによって、市民にどのような影響があるか。

<市民課長>

国外に住民票を置く方の本人確認を行うための公証とすることと、マイナンバーカードを取得することができるようになること、個人認証、電子証明書を利用することができるようになることを目的としている。

<長澤委員>

レジ袋や代替紙袋の取組の財源は、当初環境基金からの繰り入れとなっていたが、今回コロナ対策関連の交付金の活用に変更となったが、これは補正予算全体を通じて財政課が整理をしていくということか。

<環境政策課長>

財政課も事業の精査を行っているが、所管課でも財源の模索などを行っている。

<長澤委員>

紙袋の共同購入について、注文及び配送は2分の1補助となっているが、紙代も含んでいるという理解でよいか。

<環境政策課長>

そのとおりである。

<長澤委員>

これまでもあった意見であるが、今後個別購入の補助率引き上げも検討いただきたい。

<環境政策課長>

紙袋であっても1回で捨てずに繰り返し使用していただき、ごみの量を減らしたいという考え方のもと共同購入を推進している。

<小松委員>

リリース食器の推進について、市外にある団体と市民に限定されているのか。

<環境政策課長>

市内でイベントを主催される個人及び団体、市内で開催されるイベントに出店される個人及び団体としている。

<小松委員>

エコトピア亀岡の需用費は、火災があったため理解できる。一方で、桜塚クリーンセンターは経年劣化を理由としているが、これは当初予算に計上できなかったのか。

<環境クリーン推進課施設担当課長>

4月以降、新たに修繕が必要あることがわかったため、当初予算に計上することができなかったものである。

<三宅委員>

レジ袋の提供禁止に関する条例の施行時期は現時点で不明であるが、施行するにあたって、周知方法はどのように考えているのか。

<環境政策課長>

国のレジ袋有料化と混同されないよう、9月以降条例に関する内容の広報を行っている。様々な媒体を使いながら周知を図っていきたいと考えている。

[理事者退室] 環境市民部

12:02

<休憩 12:02~13:15>

[理事者入室] 健康福祉部

(3) 第1号議案 令和2年度亀岡市一般会計補正予算(第5号)

<健康福祉部長>

(あいさつ)

<地域福祉課長>

(資料に基づき説明)

<障がい福祉課長>

(資料に基づき説明)

<高齢福祉課長>

(資料に基づき説明)

<健康増進課長>

(資料に基づき説明)

[質疑]

<平本委員>

新型コロナウイルス感染症の関係で、民生委員の活動が制約されていると思うが、現在の状況は。

<地域福祉課長>

緊急事態宣言が発表されてから訪問活動を行うことが難しくなり、しばらくは活動を自粛していただいていた。その後、保健所から状況が少し改善され3密対策を行うのであれば、感染する恐れは少ないと助言があったため、10月から訪問活動を再開する予定である。ただし、研修などについては、引き続き制約がある。

<富谷委員>

今後災害があった場合、福祉避難所はどのように機能するのか。

<地域福祉課長>

市内福祉避難所10カ所のうち、9カ所は高齢者施設や障がい者施設を福祉避難所としてお願いしているところであるが、新型コロナウイルスが感染拡大する中で、その9カ所を使うことは困難であると考えている。今後状況が好転していけば、引き続き福祉避難所としてお願いしていきたい。

<平本委員>

住居確保給付金の申請を受け付けた件数は50件とのことであったが、申請者数と世代は。

<地域福祉課長>

申請は51件であり、1件は審査の結果、要件を超える収入があった。この給付金は給与が減少した方が対象となるため、大半が勤労世代である。

(2) 第2号議案 令和2年度亀岡市休日診療事業特別会計補正予算(第1号)

<健康増進課長>

(資料に基づき説明)

[質疑]

<長澤委員>

外来収入は減るが、新型コロナウイルス感染防止対策で経費が増加するため、外来収入を減額した以上に繰り入れを行う必要があるという理解でよいか。

<健康増進課長>

新型コロナウイルス感染防止対策で増加する経費については、一般会計の繰り出し金で補てんする。外来収入が減額する分の穴埋めは、前年度の繰越金と残額を一般会計の繰り出し金で補てんする。

(3) 第3号議案 令和2年度亀岡市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

<高齢福祉課長>

(資料に基づき説明)

[質疑]

<富谷委員>

113カ所の通いの場のうち、現在を再開しているのは何カ所か。

<高齢福祉課長>

全てを把握しているわけではないが、多くが再開に向けて苦慮されている状況である。社会福祉協議会を通じて要望があれば、新型コロナウイルス感染症予防対策の方法に関する講座などを実施している。通いの場が安心して再開していただけるよう取組を進めている。

<大塚副委員長>

通いの場というのは、自治会や老人会が主催して月に何回か活動している場のことか。

<高齢福祉課長>

そのとおりである。社会福祉協議会がボランティア団体を把握しており、それぞれの地域でサロンという形で登録していただいているものである。

[理事者退室] 健康福祉部

[理事者入室] 市立病院

14:07

(1) 第5号議案 令和2年度亀岡市病院事業会計補正予算(第2号)

<病院事業管理者>

(あいさつ)

<病院総務課長>

(資料に基づき説明)

[質疑]

<平本委員>

発熱外来棟建設のスケジュールは。

<病院総務課長>

最短で11月上旬から着工していく。併せて、CT検査を行う際、新型コロナウイルスなどに感染の疑いのある方と同じ入口から病院に入ると感染する可能性があるため、壁面に扉を設置し発熱外来棟からCT検査室へ最短で行けるよう改修を行う。壁面の工事は、年内に完成させ、建物は2月末の完成を予定している。

<平本委員>

エアテントを併用しながら建設していくという理解でよいか。

<病院事業管理者>

当初から発熱外来棟が必要であると考えていたが、建設に時間がかかるため、これまでの一時的な対応としてエアテントを設置している。

<平本委員>

発熱外来棟は2月末に完成予定であることであるが、インフルエンザが流行す

る時期に建設する必要があるのか。

<病院事業管理者>

インフルエンザが流行する前に建設したいと考えていたが、国から財源措置があるという話があったため、時期を合わさざるを得なかった。

<平本委員>

新型コロナウイルスが感染拡大するのではないかと言われている時期に建設されるが、対応できるだけの体制がとれるのか。

<病院事業管理者>

現在設置しているエアテントの規模で発熱外来の対応できなくなった場合は、地域の方に迷惑をかけるが、新型コロナウイルス感染症と救急の対応を交互に行うなど臨機応変に対策を講じる必要があると考えている。

<平本委員>

医療従事者で誹謗中傷などの実害を受け、退職された方はいるか。

<病院事業管理者>

退職した職員はいない。しかし、誹謗中傷まではいかないが、噂があり気にしている職員がいるということは間接的に伺った。マスメディアで言われているようなことが、亀岡市でも起こっているということについて職員と情報共有を行ったことがある。

<平本委員>

メンタル面のフォローをお願いしたい。

<長澤委員>

発熱外来棟の構造は。

<病院事業管理者>

準備室と診察室の2つにわかれており、次に診察される方のみが発熱外来棟で待機され、それ以外の方は、車で待機していただく。

<長澤委員>

検査機器の導入費用が計上されているが、どういったものか。

<病院事業管理者>

抗原検査を行うための機器であり、PCR検査をはじめとした感染症の検査を自前で行うことができるようになる。機種は、近隣の病院で使用されているものであり、感度も良く信頼性の高いものである。

<長澤委員>

厚生労働省が、9月末から10月はじめに方針を出したが、今後10月以降は保健所経由ではなく、病院や診療所が前面に立って相談者の対応を行うということになっているが、それに対応する体制はとれているか。

<病院事業管理者>

現時点においても、保健所から依頼があったもの以外で、発熱外来を受診し医師が必要と判断した場合は、PCR検査を民間の事業者に委託している。

<富谷委員>

緊急のものを除き手術を延期するよう提言があったと伺ったが、予定手術を延期したという案件はあるか。

<病院事業管理者>

消化器系の検査は、口から機器を入れることから学会が中止の決定をしており、1カ月程度手術を行わなかった。外科も少し件数を減らして手術を行い、整形外科は患者に説明を行い、本人から延期の申し出がない場合は、継続して手術を行った。

ただし、新型コロナウイルスの入院患者を受け入れる場合は、緊急の手術を除き全ての手術を中止する。

<小松委員>

新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金は、医師、看護師、職員の全員に均一の金額が支給されるのか。

<病院事業管理者>

3月で退職された方、勤務日数など一定の条件を満たした非常勤の方も対象となり、金額は均一に支給する。

[理事者退室] 市立病院

14:55

4 討論～採決

[討論]

<平本委員>

第1号議案一般会計補正予算こども未来部分、こどものあそび場整備事業について、様々な議論があったが、予算を先取りしているものの、事業内容が明確ではないため、審査が難しい。

<長澤委員>

京都府に対して補助金を申請する際に、事業計画書を提出していると思うので、その資料は提示するべきである。

<小松委員>

根拠に乏しく、詳細な資料が必要である。

<富谷委員>

イメージだけで予算を計上されており、審査にあたって判断することができない。

<西口委員>

明確な計画がなく、強度の問題など基本的な事項がわからない状態で審議することはできない。判断するのに必要な資料などを求める必要があり、安全性を確保して整備できるか示してもらいたい。

<平本委員>

病院事業会計補正予算の説明時には、略図であるがイメージを示していただいたので、同様の対応をしていただき判断できる材料を求みたい。

<三宅委員>

審査をするのに必要な資料をもらわないと、賛否を判断できない。差し戻しも含めて検討するべきである。

<富谷委員>

判断する資料が不足しており、進め方が安易であったことから、今後のためにも指摘する必要があると思うが、子育て支援のことを考えて、補助金の交付申請を進めてこられたので、差し戻しまでは考えていない。

<並河委員長>

明日、子ども未来部から再度説明を受けることとする。討論、採決についても明日子ども未来部から説明を受けた後に行うこととする。

5 陳情・要望について

(1) 国民のいのちと健康を守るために医療機関や介護施設・事業所に大規模な財政支援を求める陳情書

<並河委員長>

どのように取り扱うか。

<並河委員長>

当委員会としては、聞き置く程度とする。

<了>

～10：17

(2) 人生百年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望

<並河委員長>

どのように取り扱うか。

<並河委員長>

当委員会としては、聞き置く程度とする。

<了>

～10：17

(3) 「亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例」の施行期日延期について（申入れ）

<並河委員長>

どのように取り扱うか。

<西口委員>

この件に関しては、市長が新型コロナウイルス感染症の状況を見極めて判断すると発言があったため、一定期間は様子をみて、状況によっては議会から申し入れいく必要があるので、現時点では聞き置く程度としてもよいと思う。

<並河委員長>

当委員会としては、聞き置く程度とする。

<了>

～10：17

7 その他

<並河委員長>

議会だよりの掲載事項について、意見はあるか。

<平本委員>

ポイ捨て防止重点地域にごみ箱を設置することについて、市民にポイ捨て禁止条例を周知するという視点からも掲載してはどうか。

<三宅委員>

埋め立てごみの分別について掲載してはどうか。

<西口委員>

市立病院の発熱外来棟建設は、とても良い取組であるため、市民に向けて情報発信するべきであると思うがどうか。

<三宅委員>

ごみの分別は、今後の取組であるため、今回は取り下げる。

<並河委員長>

市立病院の発熱外来棟建設とポイ捨て禁止重点地域へのごみ箱設置の2項目とする。その他の内容については正副委員長に一任いただくこととしてよいか。

<了>

8 その他

<富谷委員長>

次回は9月29日に委員長報告の確認を行う。

散会 ~16:10